

2018年3月期 第1四半期決算説明会

2017年8月8日

資料取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者 (CEO)

垣内 永次

▶▶ 2018年3月期 第1四半期決算のポイント

- 前年同期比、増収・増益で順調な滑り出し
1Qとしては、リーマンショック以降最高の売上・営業利益
- SEの堅調な業績見通しにより、上期・下期・通期予想を上方修正
- SE>>
 - ・ 前年同期比、増収・増益
1Qとしては、過去4年間の中で最高の売上・営業利益
 - ・ 受注は、529億円と高水準を継続

本日のアジェンダ

1. 2018年3月期 第1四半期 連結業績

2. 2018年3月期 第1四半期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 2018年3月期 業績予想

5. トピックス

1. 2018年3月期 第1四半期 連結業績



2. 2018年3月期 第1四半期 セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2018年3月期 業績予想



5. トピックス



連結業績 <2018/3月期 第1四半期>

(億円)	2017/3月期					2018/3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	前年同期比	
売上高	622	738	738	902	3,002	729	107	17.2%
SE	412	503	506	637	2,060	465	52	12.8%
GA	96	124	104	132	458	108	12	12.7%
FT	93	86	108	93	381	129	35	38.5%
PE	18	21	16	33	89	23	5	30.0%
その他および調整	1	2	3	5	12	2	0	36.3%
営業利益	51	70	91	124	337	73	22	44.2%
営業利益率	8.2%	9.6%	12.4%	13.7%	11.2%	10.1%	-	1.9pt
SE	43	60	80	108	293	64	20	47.9%
GA	▲2	8	1	7	14	1	4	-
FT	12	5	11	14	43	11	▲1	▲8.3%
PE	1	1	1	2	7	0	▲0	▲50.8%
その他および調整	▲3	▲5	▲3	▲9	▲21	▲4	▲0	-
経常利益	50	66	90	112	320	75	24	49.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	57	68	78	241	51	14	38.5%

SE : 半導体機器事業

FT : ディスプレー製造装置および成膜装置事業

GA : グラフィックアーツ機器事業

PE : プリント基板関連機器事業

※2017年4月よりPEは報告セグメント

連結業績サマリー <2018/3月期 第1四半期>

前年同期比 (億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	1Q	1Q		
売上高	622	729	107	17.2%
営業利益 営業利益率	51 8.2%	73 10.1%	22 1.9pt	44.2%
経常利益	50	75	24	49.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	51	14	38.5%

前年同期比

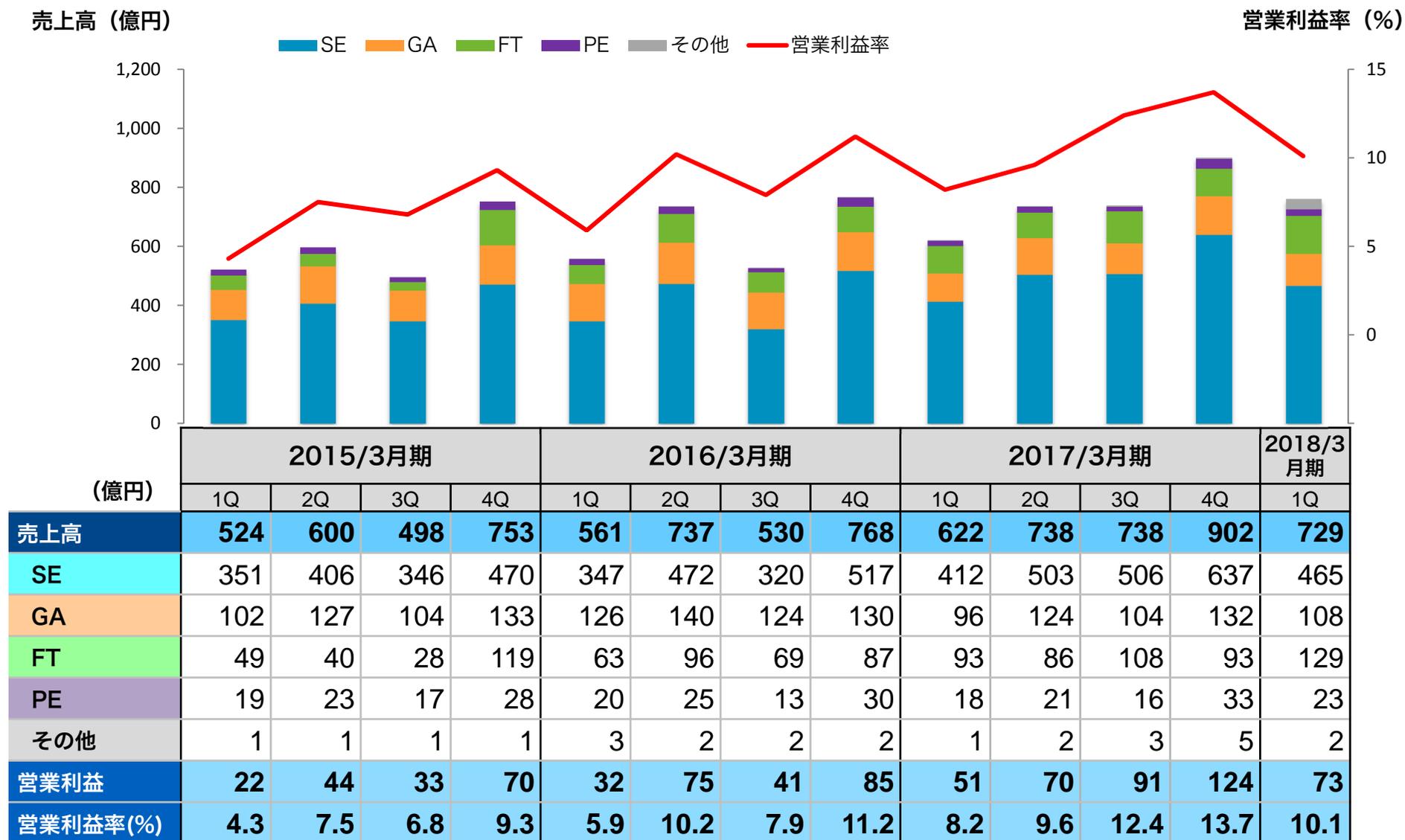


営業利益



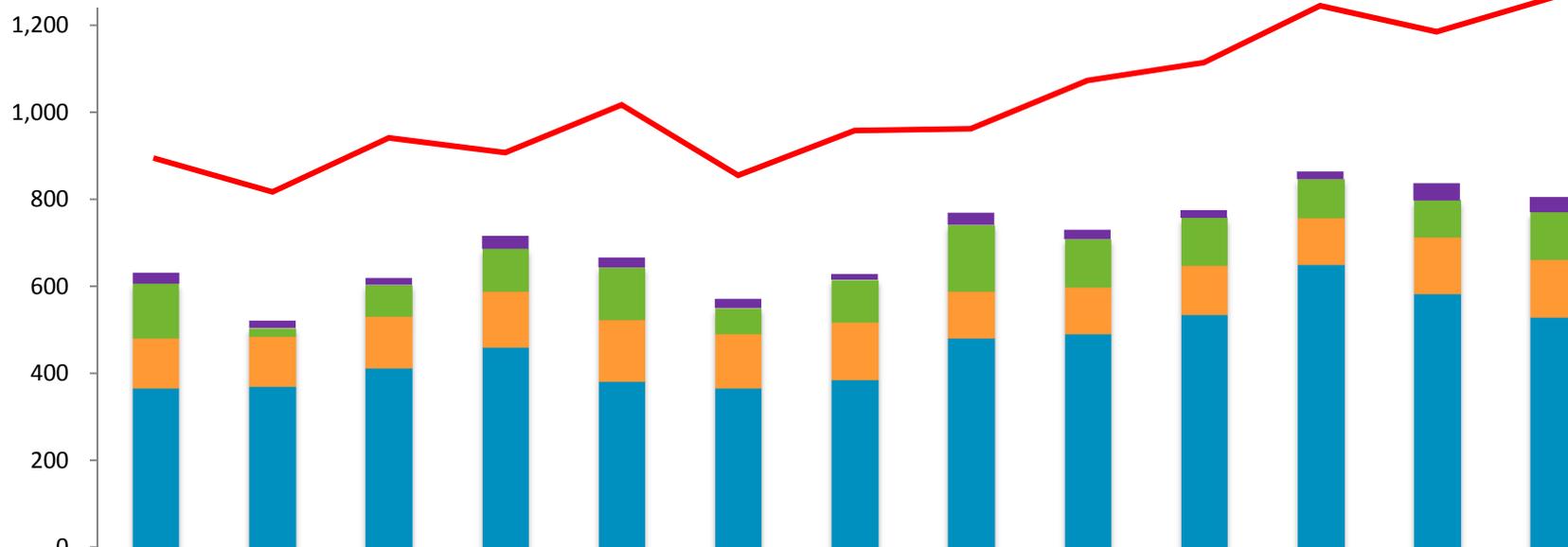
前四半期比 (億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	4Q	1Q		
売上高	902	729	▲172	▲19.1%
営業利益 営業利益率	124 13.7%	73 10.1%	▲50 ▲3.6pt	▲40.5%
経常利益	112	75	▲36	▲32.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	78	51	▲26	▲34.3%

連結売上高/営業利益の四半期推移



連結受注高/受注残高の四半期推移

(億円) SE GA FT PE 受注残高



(億円)	2015/3月期				2016/3月期				2017/3月期				2018/3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
受注高	632	521	620	718	667	573	630	770	731	776	866	837	806
SE	366	369	411	459	381	367	386	481	491	533	648	581	529
GA	115	115	120	129	141	123	130	106	106	113	108	131	131
FT	125	20	72	98	121	60	99	154	111	111	90	85	110
PE	25	17	16	30	23	21	13	28	22	18	18	40	35
受注残高	893	817	941	907	1,017	855	958	962	1,073	1,114	1,245	1,185	1,264

1. 2018年3月期 第1四半期 連結業績



2. 2018年3月期 第1四半期 セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2018年3月期 業績予想



5. トピックス



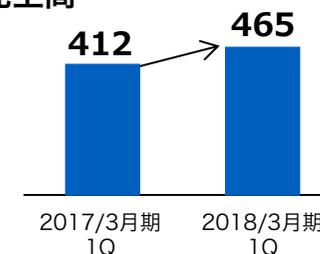
セグメント別業績概況 <SEセグメント>

前年同期比

(億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	1Q	1Q		
売上高	412	465	52	12.8%
営業利益 営業利益率	43 10.5%	64 13.8%	20 3.3Pt	47.9%

前年同期比

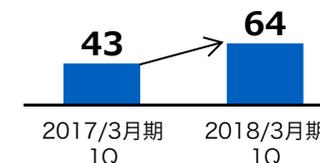
売上高



前四半期比

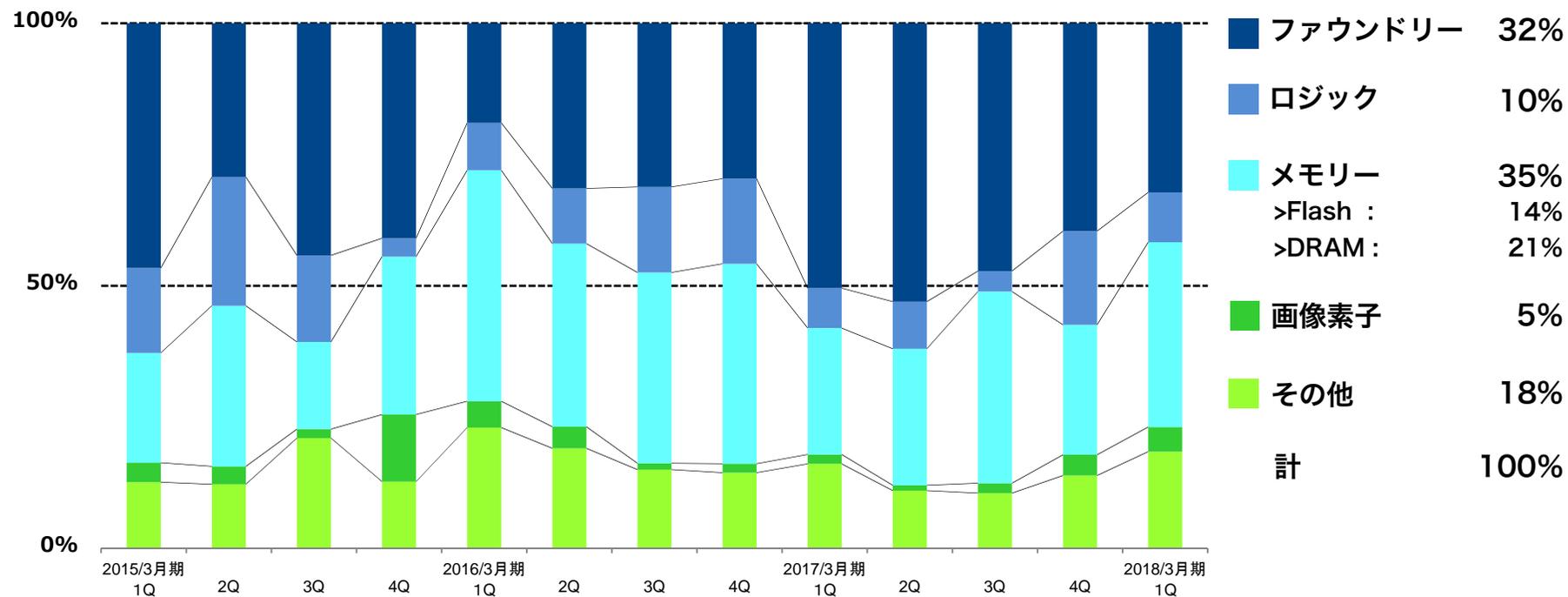
(億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	4Q	1Q		
売上高	637	465	▲171	▲26.9%
営業利益 営業利益率	108 17.0%	64 13.8%	▲44 ▲3.2pt	▲40.9%

営業利益



- ▶ 対前年同期比の1Q売上は、メモリーが大きく伸び、ファウンドリーも堅調に推移。
- ▶ 今後も引き続き、メモリーの活発な投資、ファウンドリー/ロジックの微細化投資により、活況な市場環境は継続すると予想。中国市場の立ち上がりが本格化。

単独・デバイス別受注比率・四半期推移 <SEセグメント>



>>ご参考：連結・受注高 529億円

セグメント別業績概況 <GAセグメント>

前年同期比

(億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	1Q	1Q		
売上高	96	108	12	12.7%
営業利益	▲2	1	4	-
営業利益率	▲2.9%	1.7%	4.6pt	

前年同期比

売上高



前四半期比

(億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	4Q	1Q		
売上高	132	108	▲24	▲18.3%
営業利益	7	1	▲6	▲77.0%
営業利益率	6.0%	1.7%	▲4.3pt	

営業利益



- ▶ 前年同期比で増収、黒字転換。昨年のdrupa展で紹介したPOD装置とインクの売上が増加。米国を中心に回復基調。
- ▶ 今後、POD（連帳式インクジェット機、ラベル、パッケージ向け）やSCインクなどの消耗品の売上拡大を図る。
→主力装置（TPJ 520HD）とSCインクが、米国・PIAより、Intertech Technology Awardsを受賞。

セグメント別業績概況 <FTセグメント>

前年同期比

(億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	1Q	1Q		
売上高	93	129	35	38.5%
営業利益 営業利益率	12 13.5%	11 9.0%	▲1 ▲4.6pt	▲8.3%

前年同期比

売上高



前四半期比

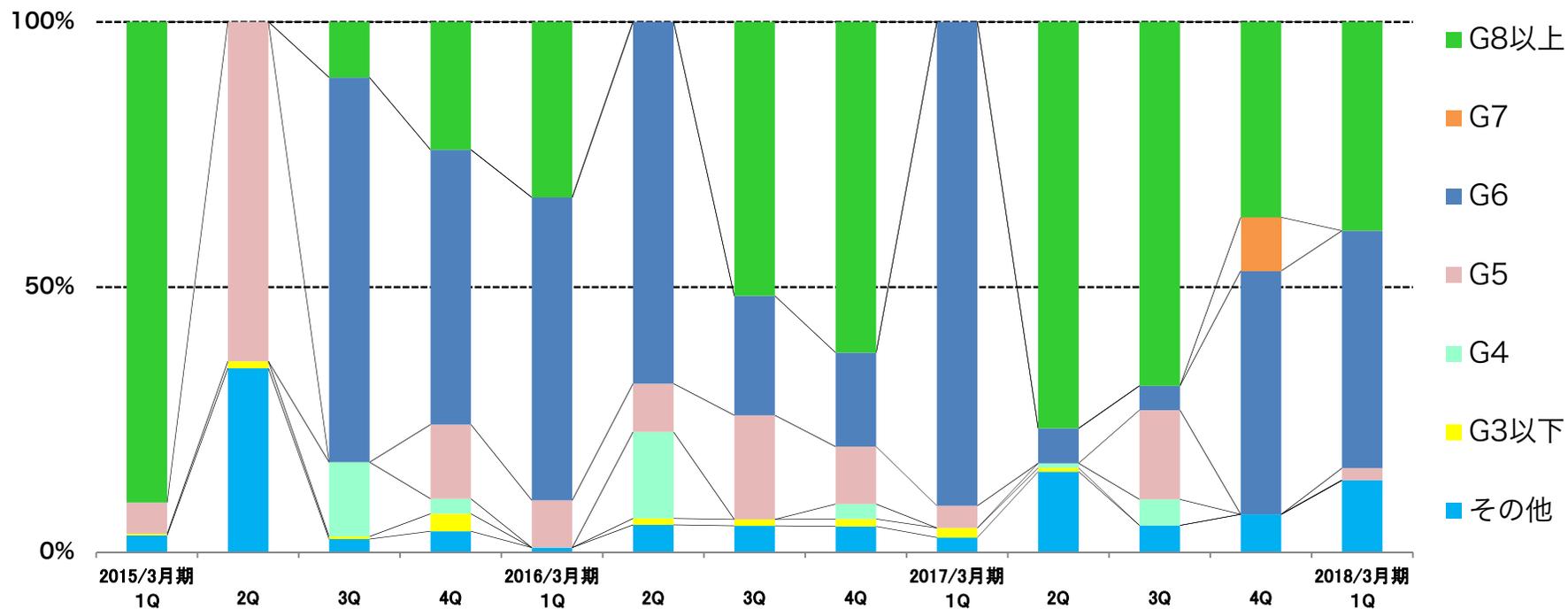
(億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	4Q	1Q		
売上高	93	129	35	38.4%
営業利益 営業利益率	14 15.3%	11 9.0%	▲2 ▲6.4pt	▲19.1%

営業利益



- ▶ 前年同期比、大型パネル用装置、中小型用装置（OLED）ともに売上増加。新規事業領域の売上も順調に伸長。
- ▶ 事業ポートフォリオの変革を目指し、ディスプレイ製造の後半工程事業を(株)FUKより譲り受け、グループ内に(株)SCREENラミナテックを設立。→フレキシブルディスプレイビジネスの拡大を目指す。

単独・製品サイズ別受注比率・四半期推移 <FTセグメント>



>>ご参考：連結・受注高 110億円（うち、OLED関連は30%以上）

セグメント別業績概況 <PEセグメント>

前年同期比

(億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	1Q	1Q		
売上高	18	23	5	30.0%
営業利益	1	0	▲0	▲50.8%
営業利益率	8.1%	3.1%	▲5.1pt	

前年同期比

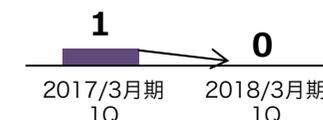
売上高



前四半期比

(億円)	2017/3月期	2018/3月期	増減	
	4Q	1Q		
売上高	33	23	▲9	▲28.6%
営業利益	2	0	▲2	▲74.6%
営業利益率	8.7%	3.1%	▲5.6pt	

営業利益



- ▶ 新たな事業会社として順調にスタート（2017年4月1日）。中国や韓国向け（高機能スマートフォンの需要旺盛）で売上増加。
- ▶ 今期、主力製品の直接描画装置は引き続き、スマートフォンや車載向けの引き合いが強い。検査装置とともに新規製品を投入し、売上拡大を狙う。

1. 2018年3月期 第1四半期 連結業績



2. 2018年3月期 第1四半期 セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2018年3月期 業績予想



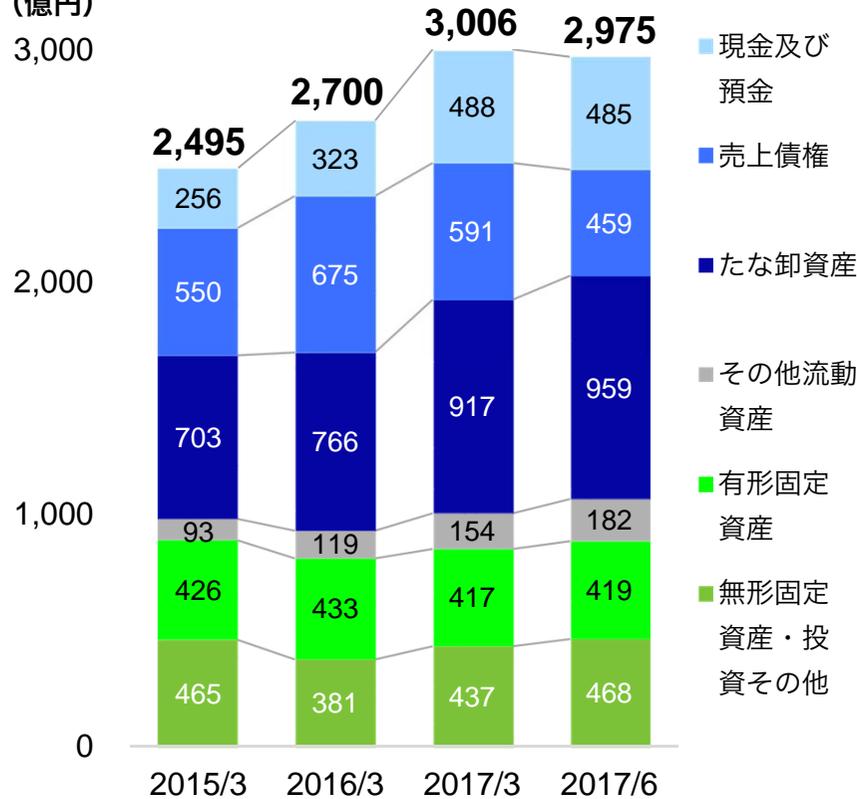
5. トピックス



連結貸借対照表

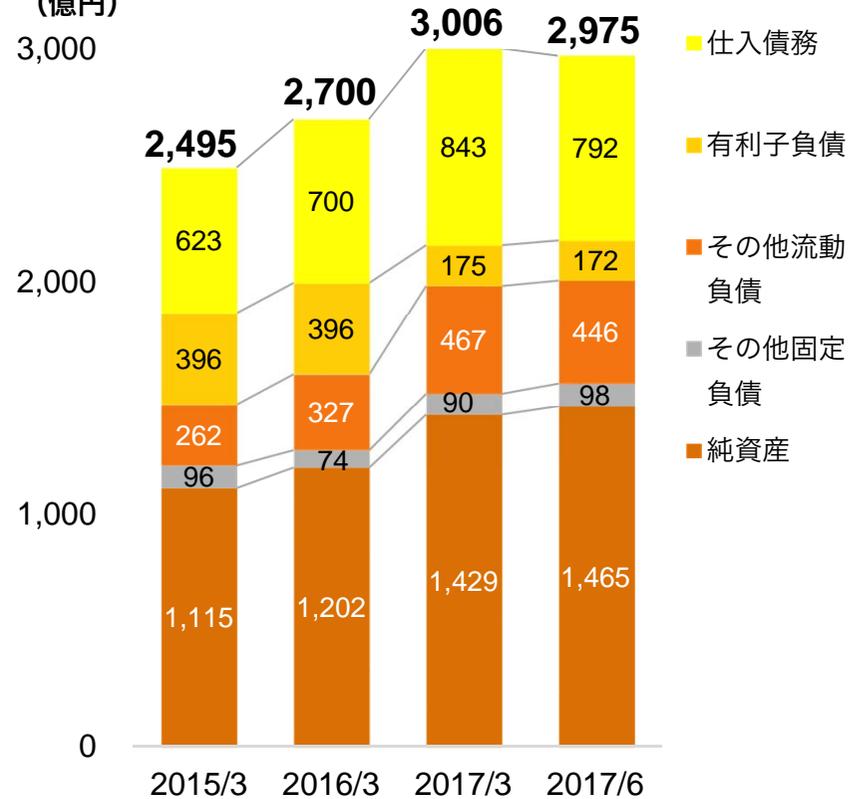
資産の部

(億円)
3,000



負債および純資産の部

(億円)
3,000

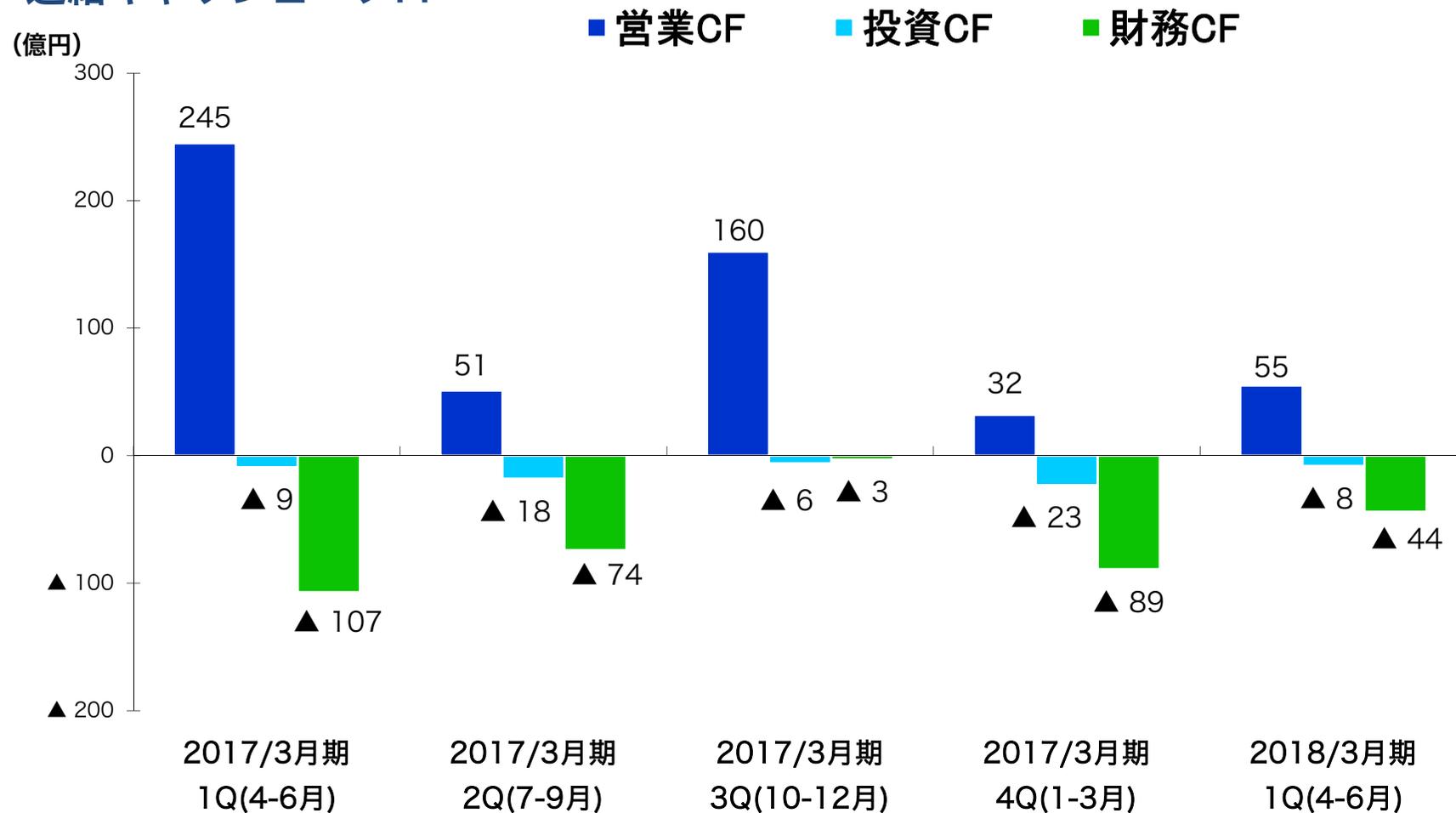


自己資本比率 47.5% (2017/3月末)



49.3% (2017/6月末)

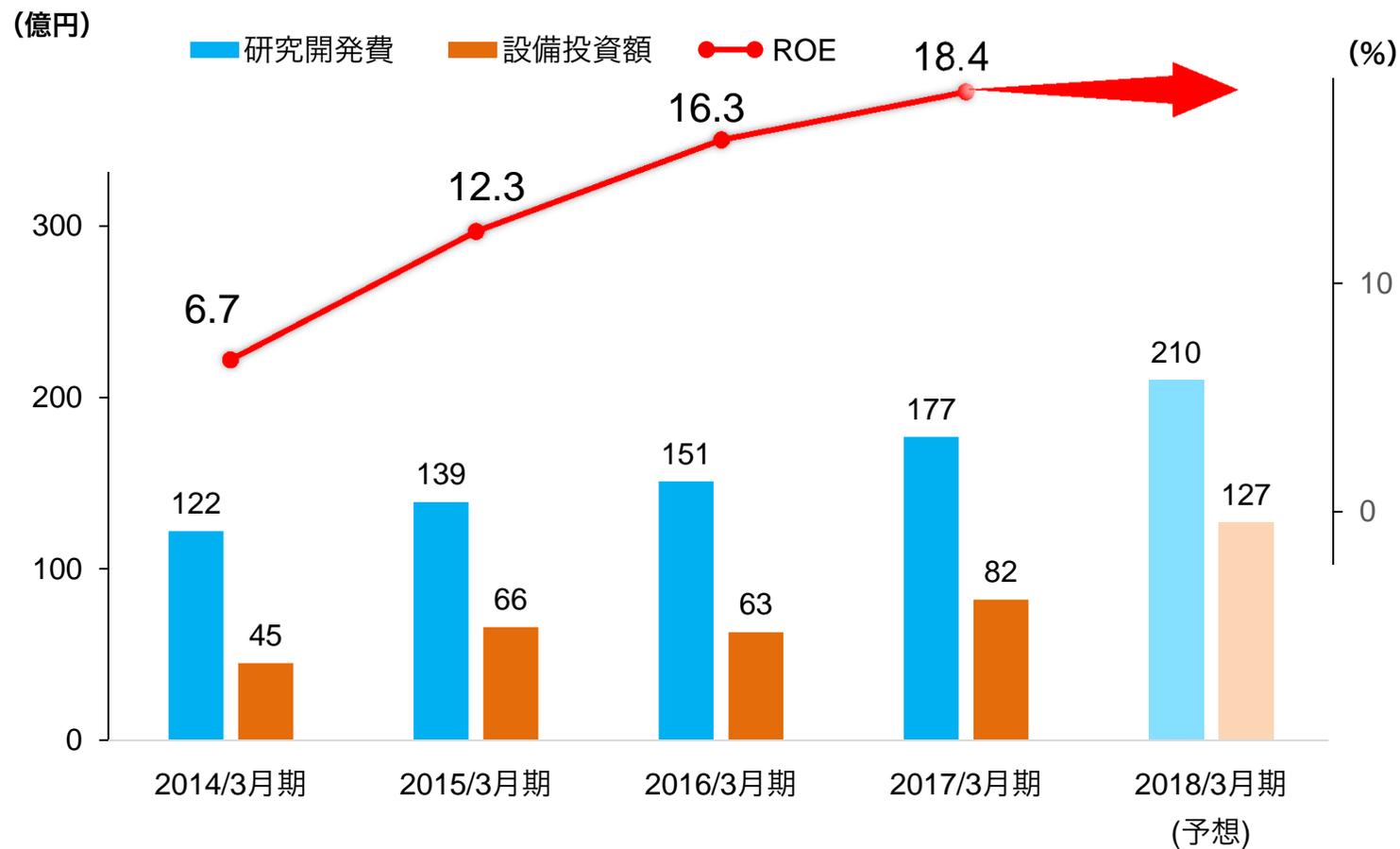
連結キャッシュ・フロー



2018/3月期 1Q フリーキャッシュ・フロー →

47億円

成長に向けた資本効率



▶ 過去3年間、設備投資額、研究開発費が増加しながらも、ROEを10%台を維持。

1. 2018年3月期 第1四半期 連結業績



2. 2018年3月期 第1四半期 セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2018年3月期 業績予想



5. トピックス



2018年3月期 業績予想

(億円)	上期		下期		通期		
	5月発表	8月発表	5月発表	8月発表	5月発表	8月発表	増減
売上高	1,450	1,510	1,600	1,660	3,050	3,170	120
SE	940	990	1,080	1,155	2,020	2,145	125
GA	241	240	252	253	493	493	—
FT	208	220	187	190	395	410	15
PE	46	52	51	48	97	100	3
その他	15	8	30	14	45	22	▲23
営業利益 営業利益率	140 9.7%	152 10.1%	200 12.5%	218 13.1%	340 11.1%	370 11.7%	30 0.5pt
経常利益	139	151	198	217	337	368	31
親会社株主に帰属する 当期純利益	85	96	138	154	223	250	27

注) 想定為替レート>> 1USドル=105円、1ユーロ=115円
 期末配当予想>> 1株当たり87.00円

1. 2018年3月期 第1四半期 連結業績



2. 2018年3月期 第1四半期 セグメント別業績概況



3. 財務状況



4. 2018年3月期 業績予想



5. トピックス



▶▶ ESG関連・トピックス

コーポレート・ガバナンス・コード：全73項目に対し すべてComply

従来、Explain項目（実施しない、その理由を説明）としていた「独立社外取締役の有効な活用」の補充原則に対して、社外取締役への情報提供の機会をさらに充実拡大することにより、Complyへ変更。
<2017年7月5日に東証へ提出>

ESGインデックス銘柄に選定：

FTSE Blossom Japan、FTSE4Goodほか。

》》 その他のトピックス

SE：製品ポートフォリオの拡充＜今期リリース＞

□ 直接描画露光装置「DW-6000」

高生産性モデル

成長が見込まれる
Advanced Package
向け



□ 熱処理装置「LA-3100」

最先端デバイスの特性改善に貢献



□ 検査・計測装置「ZI/RE/VM-3500」

IoT向け電子デバイス市場のニーズに対応



□ ウェット洗浄装置「CW-2000」

フットプリント半減、生産性1.5倍の優れたコスト
パフォーマンスを実現



≫ その他のトピックス

GA：デジタルラベル印刷機の食品用ラベル対応モデルを開発

- Truepress Jet L350UV+LM
食品パッケージ市場向け



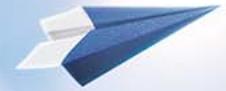
PE：ハイエンドHDI基板向け光学式外観検査装置を発売

- 光学式外観検査装置「MIYABI 7」
スマホ、車載用基板向け
(8月発売)



SCREEN

Fit your needs, Fit your future



SCREEN